

平成27年3月23日

報道関係各位

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ)

コンピュータソフトウェア協会、データサイエンティスト育成プログラムを公表

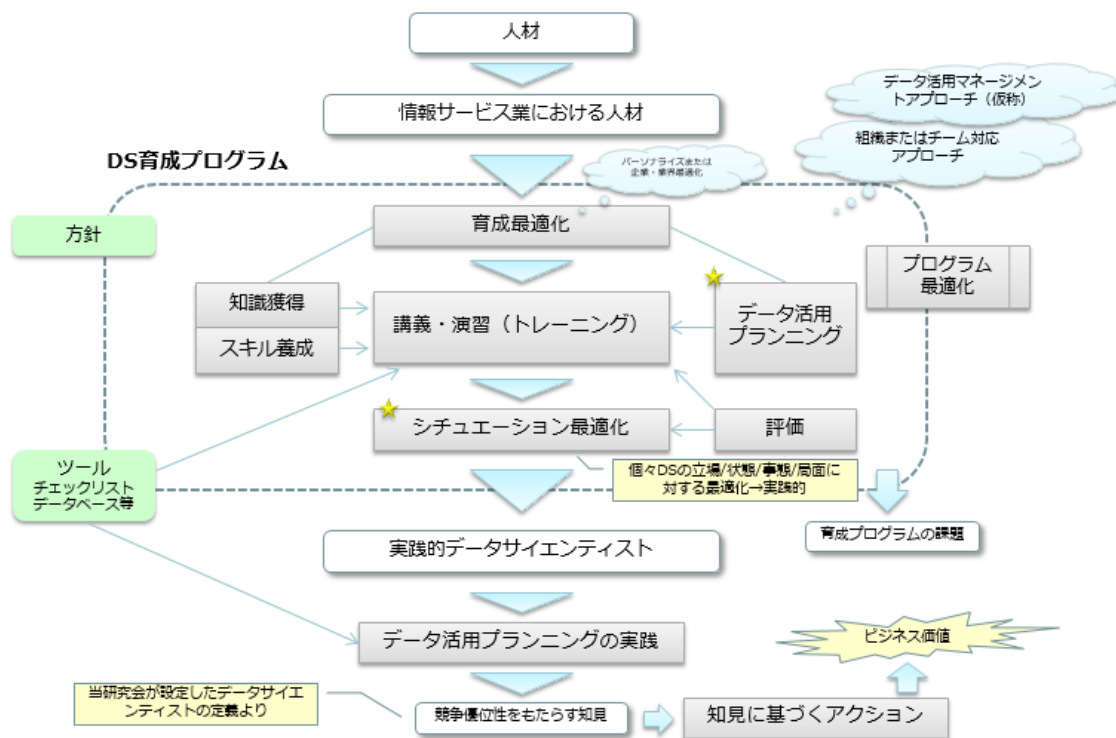
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（略称「CSAJ」、港区赤坂）データサイエンティスト育成研究会（主査：昆凡子、株式会社シムコス会長）は、昨年度同研究会が公表したデータサイエンティストの定義をベースに「データサイエンティスト育成プログラム」の枠組みをまとめ、公表いたしました。

■育成プログラムのベースとしたデータサイエンティストの定義（平成26年5月公表）

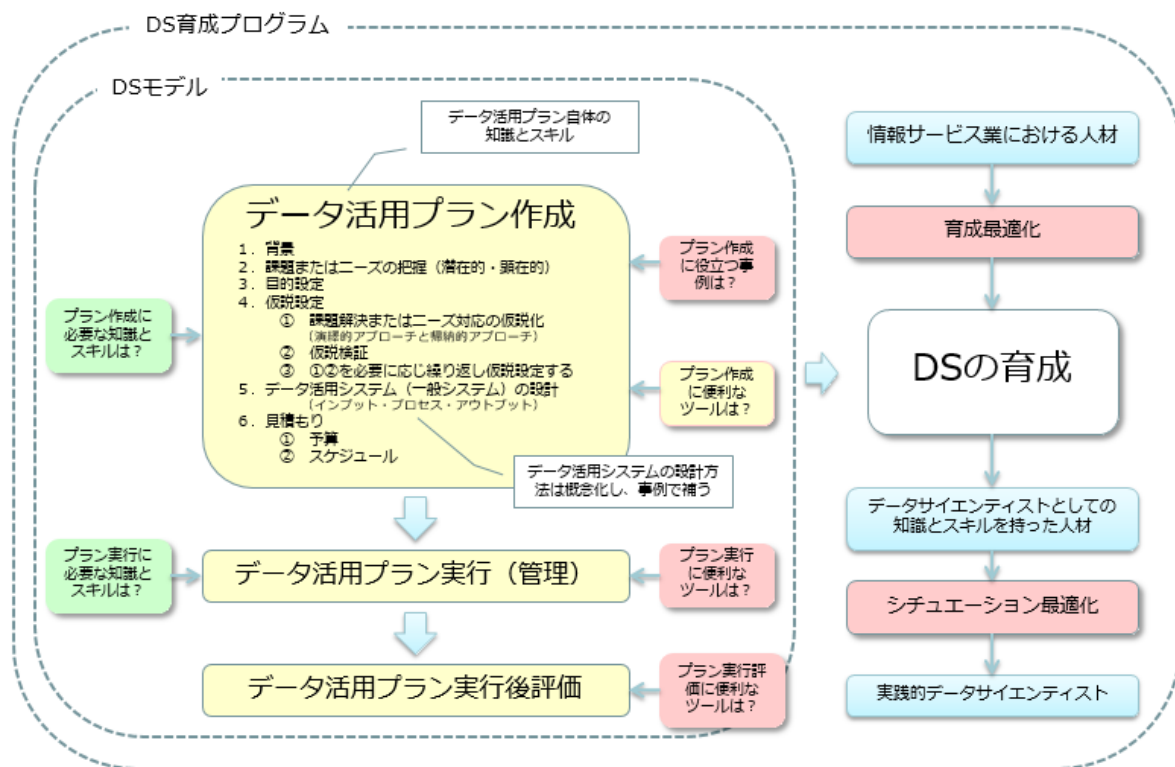
「ビジネスにおいて、競争優位性をもたらすために、
データの収集・加工・分析に優れた専門性を発揮し、知見を引き出す人材」

■育成プログラムについて

データサイエンティスト育成プログラム（DS 育成プログラム）は、情報サービス業における人材を実践的データサイエンティストに育成するためのプログラムです。育成プログラムは、研究会で定義したデータサイエンティストを創出するための要素を手順も含め提示するものです。



データサイエンティスト育成プログラムは、データサイエンティストのモデル（DS モデル）とその育成手順とで構成しています。DS モデルは、当研究会が平成25年度に定義した「職務」を行う人材の活動をモデル化したもので、データ活用プランを作成できる人材としています。



このほか、データサイエンティストの職務、タスクの定義、求められる知識とスキル、データサイエンティスト育成プログラムの概要についてまとめています。

■データサイエンティストが必要とする知識とスキルについて

DSモデル作成に当たっては、DSに必要な知識体系をDSの職務毎に学習目標を含め整理して提示しています。学習目標の設定では、ID（インストラクショナルデザイン）手法を参考にしています。

■参考資料

- ・添付資料1、添付資料2、添付資料3
- ・平成25年度データサイエンティスト育成研究会報告書（PDF）
http://www.csaj.jp/publish/h25/140331_dscientist.pdf

■支援ツールについて

DS育成プログラムでは、育成の生産性と信頼性を高めるため、育成および実践を支援するツールについても検討し、提示しています。

詳細につきましては、参考資料をご参照ください。

■参考資料

- ・平成26年度データサイエンティスト育成研究会報告書（PDF）
http://www.csaj.jp/publish/h26/150323_dscientist.pdf

■本ニュースリリースの掲載場所

http://www.csaj.jp/release/15/150323_csajrelease.pdf

■一般社団法人コンピュータソフトウェア協会とは

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（以降、CSAJ と略す）は、コンピュータソフトウェア製品に係わる企業が集まり、ソフトウェア産業の発展に係わる事業を通じて、我が国産業の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的としています。CSAJ は、「会員・業界活動」、「プライバシーマーク審査」、「認定試験」、「PSQ 認証制度」、「U-22プログラミング・コンテスト運営」のほか、政策提言、ベンチャー支援、ビジネスアライアンス、知的財産保護、税制改正要望、人材育成、国際交流など、さまざまな活動を通じて、ソフトウェア産業の発展に貢献しています。

■データサイエンティスト育成研究会とは

CSAJ の研究会として、会員企業を中心としたメンバーに一部有識者を加え、平成25年10月に発足。情報サービス業界視点で「データサイエンティスト」を定義するところから活動を始め、月に1度のペースで研究会を開催していましたが、今回の報告を以って活動を終了しました。

なお、本件に関するお問い合わせは下記連絡先までお願い致します。

■問い合わせ先

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

事務局 小林 E-mail : gyoumu1@csaj.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-6 赤坂グレースビル 4階

TEL : 03-3560-8440 FAX : 03-3560-8441 <http://www.csaj.jp/>